

平成16年度決算

平成16年度の各会計決算が中間市議会で認定されました。
 みなさんから納めていただいた市民税や固定資産税などの税金や地方交付税などの収入で、
 明るく元気な風がふくまちをつくるための事業を実施致しました。
 一般会計の収入総額は180億8634万円、支出総額は174億2941万円で差し引き6億5692万円となり、
 17年度に繰り越した事業に充てる財源185万円を除いた実質収支は6億5507万円の黒字となりました。
 その他の特別会計を含む全会計の決算は、下表のとおりです。
 今回は、市民の皆さんの生活に密接に関係している一般会計がどのように使われたか、その決算の概要
 についてお知らせします。

各会計別決算状況

会計	歳入	歳出	形式収支	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	18,086,340	17,429,416	656,924	1,851	655,073	48,588
国民健康保険事業	4,884,313	5,423,065	538,752	0	538,752	20,014
住宅新築資金等	20,405	589,772	569,367	0	569,367	28,307
地域下水道事業	117,350	113,594	3,756	0	3,756	9,696
公共下水道事業	1,944,951	1,941,905	3,046	0	3,046	453
老人保健	6,379,534	6,333,497	46,037	0	46,037	26,859
公共用地先行取得	0	0	0	0	0	0
介護保険事業	2,746,185	2,684,530	61,655	0	61,655	31,965
合計	34,179,078	34,515,779	336,701	1,851	338,552	48,942

一般会計

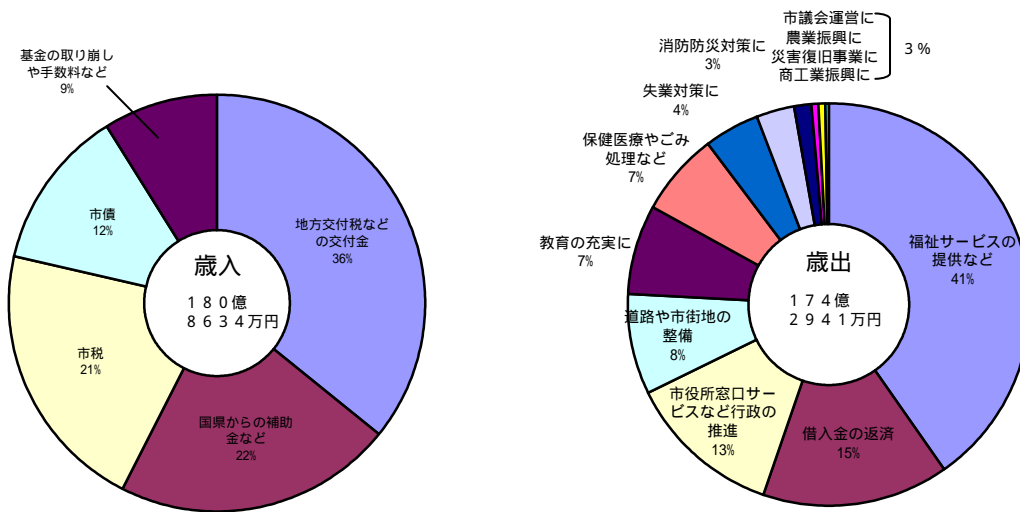
収入総額 180億8634万円

支出総額 174億2941万円

地方交付税などの交付金	64億7343万円
国県からの補助金など	39億2885万円
市税	38億3649万円
市債	22億2160万円
基金の取り崩しや手数料など	16億2597万円

福祉サービスの提供など	70億125万円
借入金の返済	26億4748万円
市役所窓口サービスなど行政の推進	21億8407万円
道路や市街地の整備	13億8548万円
教育の充実に	12億7084万円
保健医療やごみ処理など	11億6831万円
失業対策に	7億6402万円
消防防災対策に	5億3106万円
市議会運営に	2億1103万円
農業振興に	1億3448万円
商工業振興に	7112万円
災害復旧事業に	6027万円

平成16年度一般会計歳入・歳出決算の内訳



主な事業

消防ポンプ自動車購入

中間市消防本部に消防ポンプ自動車を新規に整備いたしました。

16年度末現在の消防車輛は

はしご車	1	台
ポンプ車	2	台
救急車	3	台
消防団ポンプ車	6	台
その他消防車輛	10	台

農道整備事業

農業用水の確保及び非かんがい期の不用な雨水等を迅速に排除し、水田の乾田化の促進と汎用化を図るため、上底井野地区、砂山地区、下大隈地区の農業用排水路の改良工事を実施しました。

水入朝霧線道路改良事業

通学児童の安全な歩道の整備や相互通行による交通の利便性の向上を図るため道路幅員の拡幅と歩道の整備工事を実施しました。

小学校パソコン教室空調工事

小学校のパソコン教室の空調設備整備工事を実施し、快適な教育環境づくりを図った。

七重2号線ほか災害復旧工事(繰越分)

平成15年7月の大雨により発生した法面崩壊復旧工事。

平成15年7月13日御館通谷線(桜台二丁目)

平成15年7月25日七重2号線(七重)

中尾四丁目市有墓地法面崩壊防止のための吹き付け工事

犬王古月線県事業負担金

福岡県が施行する市役所前の遠賀橋架け換え工事及び福北ゆたか線垣生駅南側線路下に道路を築造アンダーによる立体交差の犬王古月線街路事業に対する地元負担金を支出してました。

家庭相談事業

パートナーの暴力をはじめ家庭内で発生する女性の悩みや子どもの養育についての心配ごとなどを電話・面接・家庭訪問などの方法で専任の相談員が問題解決に向けて対応しています。

通学安全協力員制度

通学途中の児童の安全確保のために在宅者のボランティアが通学路に立ってもらい不審者や車から児童を守っています。